



令和 3 年 4 月 9 日

富田林市立錦郡幼稚園

園長室 NO.1

保護者の皆さまへ

お子さまのご入園、進級まことにおめでとうございます。今年度も園長を務めさせていただきます 奥野恵一 です。平成23年度より28年度までの6年間、錦郡小学校に勤務しておりました。多くの方々に温かく接していただき、何かとご支援をいただいております。この錦織の地で、今年度も子どもたちの教育に関わらせていただくことを大変嬉しく思っております。どうぞよろしくお願いたします。今年度に着任いたしました教職員の紹介は次号にさせていただいて、この号でお伝えしておくべき事柄がございます。以下に記載させていただきます。ご理解とご了承のほどよろしくお願いたします。



3歳児、4歳児の合同保育について

本年度、富田林市立の幼稚園では、各園の園児数や実情に応じて、集団での保育効果をねらいとして、工夫を凝らし合同保育を進めていくことになりました。そこで本園では3歳児保育の開始に合わせ、昨年度「にこにこ広場」や「いちご組登園日」の活動とともに過ごした3歳児、4歳児での合同保育を行っていくことにいたしました。

ほし組（3歳児）、はな組（4歳児）を 担任 大屋裕紀、副担任 西脇誉子 の二人で担当することになります。2名担任制とすることで、保育の過程（課程）において、各園児の発達段階や興味・関心に応じた多様な活動に取り組ませたり、同じ活動においても4歳児には、より発展させた内容に取り組ませることが可能な体制をとりたいと考えております。時には、3歳児、4歳児に分かれて一人ずつの教員が付き活動を行うこともあります。といったように、子どもたちの実情を考慮しながら、連携協働して保育をおこなってまいります。

また、今年度着任しました介助員2名をこの2学年の担当といたしております。昨年度、いろいろな活動で援助してくれていました 松浦幼稚園サポーターも終日ではありませんが、給食の補助や保育の支援に関わってもらおう予定にしております。こういった体制で保育全般における支援体制の充実を図ることにより、「好きなことがいっぱいでき、集団での行動がより充実し、幼稚園がより楽しく」といった方向性で進めてまいりたいと考えております。何とぞ、ご理解とご了承のほどよろしくお願いたします。

ビオトープ（川のまわり）に植物を植えました。

3月29日にビオトープの川の周りに芝生を植え、野山に生えている植物（在来種）を移植しました。当日は全教員と、いろいろお世話いただいている瀬口さん、関西国際大学の先生や学生さん、里山（奥の谷）で活動をされている「富田林の自然を守る会」代表の田淵さんたちにご指導いただき手伝っていただきました。すごく趣のある状態になりました。草花の名を子どもたちに教えることができるように写真に撮り、確認して移植しました。今後は草花が多く面積を占めている芝生に勝ち、野山の状態になっていくことを狙っております。また、里山の池に生息しているメダカをみんなで30匹ほど掬い、いただきました。現在は池の中で団体になって泳いでいます。（メダカの学校状態です。）また、前年度のそら組がビオトープや生き物の交流をしていた喜志幼稚園からもメダカを頂きました。（錦織先生が持ってきてくれました。）お世話いただいている先生方にどういった形で放流するのが良いかお尋ねして、みんなで池や川に放してあげる予定です。みんなで里山でもらった草花を植えています。現在での状態です。あともう少しで完成です。メダカを池に放流しています。元気に泳げ！

